

コースコード：NA-SGWSADM

税込価格：412,500円 (税抜価格：375,000円)

日数：3日間

前提条件

- ・ StorageGRID Fundamentalsトレーニングを受講済み、または同等の知識を有する方
(NetApp社が提供する無償のWebベーストレーニングです。詳細は[こちら](#)をご参照ください。)

受講対象者

- ・ StorageGRIDシステムの導入、設定、管理等を行う方

コース概要

このコースでは、NetApp StorageGRIDの総合的な管理手法について学習します。StorageGRIDシステムの構成、監視、保守、拡張の方法を座学とラボ演習を通じて学習します。また、新しく導入したStorageGRIDシステムを運用可能なオブジェクトストレージとして構成する方法を学習します。

目的

- ・ StorageGRID Grid Managerを使用してStorageGRIDオブジェクトベースストレージソリューションを管理および監視する
- ・ ストレージテナントのアカウント、グループ、およびユーザの作成と管理を行う
- ・ 情報ライフサイクル管理 (ILM) ルールとポリシーを設定する
- ・ クライアントアクセス用のStorageGRIDゲートウェイノードを設定する
- ・ Simple Storage Service (S3) バケットとオブジェクトを管理する
- ・ StorageGRIDシステムのアクティビティを監視する
- ・ グリッドメンテナンスタスクを実行する
- ・ ハイブリッドマルチクラウド環境にStorageGRIDソリューションを統合する

アウトライン

1. StorageGRIDのコンポーネントとサービス
 - StorageGRIDのコンポーネント
 - StorageGRIDのネットワーク
 - StorageGRIDのネットワークポロジ
2. StorageGRIDの管理
 - Grid Manager
 - StorageGRIDの設定オプション
 - StorageGRIDの管理者アカウント
 - StorageGRIDへのセキュアなアクセス
 - StorageGRIDの管理API

ラボ: Grid Managerの操作

ラボ: StorageGRIDの管理者アカウントの作成と管理
3. ストレージテナントの管理
 - テナントアカウント
 - Tenant Manager
 - テナントアカウントの制御



- テナント管理API

ラボ: テナントアカウントの管理

ラボ: S3テナントアカウントの使用

4. 情報ライフサイクル管理

- ILMポリシーとルール

- ストレージプール、ストレージグレード、およびリージョン

- ILMポリシーの設定

ラボ: 基本的なILMの設定

ラボ: オブジェクトストレージの階層化

ラボ: オブジェクトメタデータの配置に基づいた制御

5. クライアント接続の管理

- VLANインターフェイス

- ハイアベイラビリティグループ

- ロードバランサーエンドポイント

- トラフィック分類

ラボ: ゲートウェイノードの設定

6. S3バケットの管理

- 仮想ホスト形式の識別子

- バケットのアクセス制御

- S3バケットの設定オプション

- クライアント側のオブジェクトオプション

- プラットフォームサービス

ラボ: S3バケットへのアクセスの管理

7. StorageGRIDシステムの監視

- アラート

- 監査ログ

- SNMP

- ノードサービス

- レポート

ラボ: アラートの管理

ラボ: StorageGRIDレポートの表示

ラボ: 監査ログの管理

8. StorageGRIDのメンテナンス

- StorageGRID AutoSupport

- StorageGRIDサービスの管理

- メンテナンス手順

- StorageGRIDソフトウェアのアップグレード

ラボ: グリッドメンテナンスタスクの実行

9. StorageGRIDシステムの統合

- NetApp FabricPool

- クラウドへのONTAPバックアップ

- BlueXPのコピーと同期サービス

- BlueXPのバックアップとリカバリサービス

ラボ: クラウドストレージプールの設定

ラボ: APIを使用したStorageGRIDシステムの管理